

平成 22 年度 二番茶実収報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 摘採日

本 年	前 年	前5か年
6月30日 (6月29日)	6月26日	7月1日

注) 平成23年度から調査園を変更する予定

()内は変更予定の調査園における予備調査数値 (以下同様)

2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年		前 年		前 5 か年	
収 量	指数	収 量	指数	収 量	指数
425 ± 102 (1063 ± 58)	80 (199)	588 ± 48	110	535 ± 50	100

3. 百芽重 (g)

本 年		前 年		前 5 か年	
重 量	指数	重 量	指数	重 量	指数
34.3 ± 2.1 (53.6 ± 5.7)	84 (131)	33.1 ± 4.6	81	40.8 ± 4.0	100

4. 新芽数 (本/m²)

本 年		前 年		前 5 か年	
芽 数	指数	芽 数	指数	芽 数	指数
904 ± 49 (1228 ± 138)	84 (114)	1442 ± 136	133	1081 ± 139	100

5. 出開き度 (%)

本 年	前 年	前 5 か年
64 (86)	76	81

6. 供試園の条件

品種	定植年次	栽植密度	樹高	株張り	その他
やぶきた	昭和31年3月 54年生	180cm × 30cm	93cm (84cm)	157cm (166cm)	レール設置ほ場 一番茶摘採日は5/12 (5/14)

注) 年間施肥成分量 (kg/10a) N:44.9 P₂O₅:13.6 K₂O:19.4

7. 気象表

項目・年次 月・旬	平均気温 ()			最高気温 ()			最低気温 ()			
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年	
5月	上旬	16.6	15.7	15.9	22.0	22.4	22.0	7.0	10.5	10.5
	中旬	15.5	17.0	16.1	21.8	24.1	21.7	9.1	9.9	10.7
	下旬	16.4	18.0	17.8	23.7	23.4	23.7	10.7	13.8	12.8
6月	上旬	19.7	18.6	19.2	24.8	24.1	24.9	11.9	14.5	14.3
	中旬	21.9	20.5	20.7	25.8	27.8	25.7	17.5	14.6	16.5
	下旬	23.7	23.3	21.8	26.4	29.6	26.2	20.0	19.0	18.3

項目・年次 月・旬	降水量 (mm)			降水日数 (日)			
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	
5月	上旬	19.0	62.0	47.1	3	4	3.9
	中旬	22.5	20.0	59.1	3	3	4.8
	下旬	30.5	17.5	42.6	4	5	3.9
6月	上旬	0.0	21.0	38.4	0	2	3.3
	中旬	105.0	34.5	65.5	5	3	5.2
	下旬	29.0	111.0	82.3	4	6	6.1

8. 概況

1) 気象

5～6月の平均気温はほぼ平年並だったものの、5月中・下旬はやや低く、6月中・下旬はやや高く推移した。

5～6月の総降水量は平年比の61%と少なかったものの、期間中の総降水日数はほぼ平年並であった。また、6月中旬の降水量は平年比の160%とやや多かった。

2) 生育

本年度の二番茶の摘採日、一番茶摘採日から二番茶摘採日までの日数(49日)は前5か年平均とほぼ同じだったが、二番茶芽の生育は緩慢で、出開き度は64%であった。また、収量構成要素の百芽重が前5か年平均比84%と軽く、新芽数が前5か年平均比84%と少なかったため、生葉収量は前5か年平均比80%と少なかった。

3) 病虫害の発生状況

チャノコカクモンハマキ、チャノミドリヒメヨコバイ、クワシロカイガラムシの発生が多かったが、いずれも収量、品質に影響はなかった。

4) 県内の状況

平坦地の摘採日は平年並、山間地の摘採日はやや遅かった。収量は平坦地、山間地とも平年並であった。また、チャノコカクモンハマキ、チャノミドリヒメヨコバイ、クワシロカイガラムシの発生が多かった。